

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	専用水道等関連事業			会計	款	項	目	大	小
				01	04	01	01	10	04
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	健康増進課				
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり		主管課長	伊原 理香				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	専用水道・簡易専用水道・小規模水道設置者	意図	飲用に用する専用水道等の公衆衛生を図り、市民の健康を確保する。
事業内容	水道法に基づく「専用水道」及び「簡易専用水道」、並びに流山市小規模水道条例に基づく「小規模専用水道」に対し登録、指導等を行うことで飲用水の品質を確保する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成25年度より水道法に係る業務が千葉県から市に移譲された。業務については、専門性が高いため「流山水道センター」に委託している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	検査による改善指示数	0	0	0	件	↓↓↓
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
平成30年度は専用水道13か所の立入検査を実施し、概ね適切に管理されていた。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	2,328,100	2,788,000	2,873,902
事業費(b)(円)	1,641,600	2,116,800	2,214,702
うち一般財源	1,641,600	2,116,800	2,214,702
職員給与費(c)(円)	686,500	671,200	659,200
人役・職員(人)	0.10	0.10	0.10
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	委託業者と専用水道の立入検査を実施していく。	③取組における課題(Check)	引き続き専用水道の立入検査を実施し、管理状況の適切でないものについて指導を行う必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	専用水道については、水質が悪化する恐れのある時期に適切に検査を実施することができた。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	委託業者と専用水道の立入検査を実施していく。